

第3回 京都生活協同組合 両丹ブロック 理事他 5名参加

平成29年8月29日 10:00~10:50 於:市民交流プラザ3-1会議室

主な話し合いの内容 (★=団体、◎=市長)

★生協のことは市長様も御存知かと思うが、かつては福知山に店舗があったが、残念ながら閉鎖した。福知山では現在、宅配の共同購入を中心に行っている。共同購入は、1週間前に予約をしてそれが1週間後にくるというスタイルなので、ちょっと食料品等足りなくなった時など、生協のものを欲しい場合に不便で「京都北部にも店舗が欲しい」という組合員様の要望は根強い。

★現在は、お買い物支援で1台は2t強位の大きいトラック、2台目は形状も1/3位の軽車両にして、三和町で移動販売を行っているが、なかなか利用者の広がりを見出せず、採算的に非常に厳しい状況である。しかし、買い物困難者のためにも頑張らねばと思い事業を継続している。福知山市では買い物支援の取組みについては何かされているか？

◎買い物困難者に限ってではないが、周辺部では、公共交通が利便性の問題も含めて課題がある。市バスに代わりタクシーを導入したり、公共交通の空白地について有償運送したり、いかに住民の皆様方の移動手段を、利便性を向上させながら確保するか、公共交通のネットワークの作り方とかツールの使い方を検討するために、モデル事業を今年度より、三和地域で実施しようとしている。

★高齢者見守り活動については、中丹ふるさと絆ネット(※注)の一員として、両丹ブロック全体で、個配の特性を活かして見守り活動を行っている。気になって訪問したら残念ながらお亡くなりになっていたという事例もある。そこまで行かずとも、少し具合が悪くなって動けなかったという方もあり、すぐ病院へ連絡した事例もある。少しはお役にたっているのかなと思っている。毎週1回配達の際に「ちょっといつもと違うな」「ちょっと見ていないな」という気づきが大事だと思っている。

◎配達の商品はもちろん、配達時のふれあいを楽しみにされている方もいらっしゃるのではと思う。今後とも高齢者見守り活動には御協力いただきたい。

※注:「中丹ふるさとを守る絆ネット推進事業」の略称。

中丹地域で行政(府・市)、地域住民及び事業者(企業)等が協定等を締結し、見守り活動や農村交流活動を行うことにより、安心安全な暮らしの構築や農村の維持活性化に資することを目的として実施している事業。現在市内では京都生活協同組合様を含め8事業者と協定締結し高齢者見守り活動を行っている。

(高齢者見守り活動については他に㈱セブンイレブンジャパン様とも独自協定を結んでいる)

事業について詳しくは<http://www.pref.kyoto.jp/chutan/nourin/1308038434632.html> 参照

★農地が持つ機能の保全のため、京都モデルファーム運動に参加し、京都大納言小豆の復活を目指して三岳地区で活動している。先日もボランティアで肥料にするための草刈作業をしたが、組合員様にも沢山参加いただいた。

★両丹各地域へも行政訪問しているが、京都北部はおいしいものが多いと思っている。その特産物の売り出しに関しても、京都生協の人材や、物流の仕組みなどを使っていただいて、お互いに協力し合えたらいいなと考えている。

★農業に関しては、地産地消を拡げる取組みとして、福知山ではまだ数は少ないが、エコファーマーの方の商品も取り扱っている。また、飼料用米栽培により耕作放棄地を減らすことを目的とし、飼料用米生産者と契約し、買い取った飼料用米を餌とした「さくらこめ卵」の販売も行っている。この卵は、1個1円が飼料用米生産者の応援金となるため、1パック10円、通常のさくら卵より高くなるが、価格が高くても、趣旨を理解していただき、多くの組合員様に購入いただいている。

◎三岳は、中山間地で農業をする上で条件的に厳しい地域であり、モデルファーム事業に参画いただけるのは大変ありがたく、立派な小豆が採れるよう願っている。両丹地域に誇れる特産品等、資源が無いのかといえばそうではなく、どの地域もいい資源を持っていると思う。それをどのように上手く使い収益を上げていくかが肝要である。先程の卵の話にしても、それだけの価値があるものだったら、10円高くても場合によっては50円高くても買おうと思う。商品の価値を価格に換算することは一概にできるものでもないし、打算的で嫌だと感じるかもしれないが、若い人が例えば農業なら農業で食べていって、将来伸びていけるといいう希望を見出すためには必要不可欠なことである。収益を上げるために、販路や売り先をどう考えていくかということは大事である。この「収益を上げる」部分は、行政の得意分野ではないと思っている。消費者の立場から皆様のような方々が、しっかり1次産業と一緒に「こうやっていったらいいですよ」というお話をさせていただけるのは非常に貴重である。

★子育て層のお母さんを対象にしたクラブも10余あり、若いお母さん達の数も増えてきている。この市民交流プラザでも調理室をお借りして、子ども達を集めて調理実習などもしている。その事業を去年経験した方達が今度は自分達で企画して食育教室を実施されたり、子ども達に音楽を聞かせたいと、喫茶店などいろんな会場を使ってよい音楽を聴く機会を持つ活動などされている。若い方のそういう企画力や宣伝力はすごいと驚かされている。

◎どこでどんな活動をされているのか全部を把握できている訳ではないが、本当に子育て中の若い人の力はすごいと私も思う。行政主導でなく、いろんな団体がいろんな活動をしていただくことがすごく大事なことであり、やりたいことの橋渡しをするのが行政の仕事だと思っている。次世代を担う若い人達にしっかりバトンタッチしていくことは大事なことであり。

◎事業説明書の中に「COOP電気」とあるが電気事業もされているのか？

★まだまだ契約者も少ないが、事業で生じた食品廃棄物をリサイクルし、発電用のバイオガスとして使用する「環境にやさしい」発電事業を今年度より実施している。また、廃食油も配達用バイオディーゼル燃料とするなどリサイクルに取り組んでいる。リサイクル率は38.9%である。「環境にやさしい」といえば、福知山はゴーヤ等で緑のカーテンの活動を展開されているとお聞きしている。

◎この市民交流プラザでも夏場日の当たる部屋は、エアコンでもなかなか涼しくならない。少しでも自然に環境にやさしい形で猛暑対策できないかと願い、環境会議で頑張っていたい。

◎京都生協様も、本当にいろんな取組みをされていると今日、改めて知った。今後またお世話になるかと思うが、どうぞよろしくお願いします。

★子育てにおけるイベント、高齢者におけるイベントにも、積極的に参加をさせていただきながら、活動を広めていきたいと思っている。市主催のイベントへの参加などもさせていただけたら大変ありがたいと思う。よろしくお願いします。

